

# みらいの県土

静岡県建設発生土マッチングシステム(SSM)の運用状況をはじめとする建設発生土の有効利用に関する情報をお届けします。

## No.9

### TOPIC 1

### 建設発生土マッチングシステムの運用状況

- 「静岡県建設発生土マッチングシステム(SSM)」は、官民間問わず無料で手軽に利用できるマッチングシステムです。工事間流用促進のため、ぜひご活用ください。システムはページ下部に記載のQRコードからアクセスできます。

〈運用状況 R5.11.20時点〉

ユーザー登録数	443名
土が出る工事（搬出）	72件
土が欲しい工事（搬入）	10件
中間処理場	5箇所



### ◆ おしらせ

- 11月14日 SSM登録ユーザーに対してアンケート調査を実施しました。



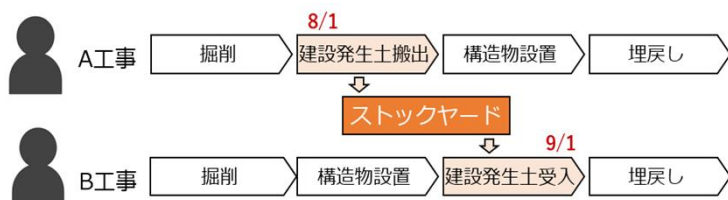
### TOPIC 2

### ストックヤード整備について

- 建設発生土の有効利用に向けた取組のひとつとして、「ストックヤードの整備」を行っています。

#### ストックヤード整備の目的は？

- 建設発生土は、搬入・搬出時期及び土質条件等のミスマッチから、工事間利用できずに処分せざるを得ないことがよくあります。建設発生土を資源として捉え、ストックヤードを活用し、需給調整を徹底することは、建設発生土の**工事間利用の促進**につながります。



図：ストックヤードの活用イメージ

#### 【中継地型ストックヤード】

- 多数の工事が土の搬出先、搬入先として活用。
- 土の利用調整を目的とし、運営ルールの下で搬入・搬出の自由度が高い。
- 工事間の需給調整を適切に図らなければ、搬入過多となる可能性もある。



図：ストックヤードの種類（一例）

#### ストックヤード整備の進捗及び検証内容

- 現在、東中西部の3地域において「ストックヤードモデル事業」を令和5年12月の運用開始を目指して進めています。
- モデル事業では、ストックヤードによる建設発生土の有効利用の向上をはじめ、設置や運営に要する費用を確認し、各地域の特性に応じた発生土の有効利用の手法を検討するため、発生土を建設資材として利活用することも検証します。
- この結果は、今後、県のみならず市町さらには民間事業者にも取組の裾野が広がるよう、「みらいの県土研究会」や県HPを通じて情報共有していきます。

表：モデル事業の実施箇所

地域	所管	実施箇所
東部	沼津土木	駿東郡長泉町
中部	静岡土木	静岡市清水区
西部	浜松土木	浜松市南区

◆手軽に登録・情報検索  
◆無料で使用可能!!  
<https://ssm-system.jp/>



静岡県建設発生土マッチングシステム  
Shizuoka Surplus Soil Matching System

